



- 1.自然光を取り入れ森をイメージした、心が安らぐ待合室
- 2.先端の骨密度測定装置。骨密度は腰椎と大腿骨部位で測定することが骨粗鬆症の正確な診断につながる
- 3.筋力が低下するため、リハビリテーションルームで包括的トレーニングなどを行う。先端マシンで骨密度をアップする
- 4.充実したキッズルーム。お母さんが窓越しに子どもたちを見ながらリハビリを受けることができる

骨粗鬆症と診断された場合は、薬による治療  
**パワープレートなどの運動療法で  
骨密度をアップする**

骨粗鬆症は手首や背骨、大腿骨の骨折を引き起こします。中でも大腿骨骨折は寝たきりの原因になったりするため早期発見が第一です。まず的確な身体診察、画像診断、血液検査、骨密度の測定を行います。骨密度の測定について、当院では先端装置を導入し、高精度の検査を行っています。検査により正確な診断ができて初めて、その患者さんに合った治療法を選択できます。

骨粗鬆症とは骨の中が粗くなり、スカスカの状態になる病気です。代表的な症状としては、背中や腰が痛くなったり丸くなる、身長が縮むなどがあります。骨粗鬆症の方は700万人くらいいるといわれ、女性が約9割を占めています。

**先端の骨密度測定装置で  
高精度の検査を行う**

的確な検査と正確な診断で患者に合った治療法を選択。骨粗鬆症の程度を認識し、より良いQOLを目指しましょう。



## つかもと整形外科醫院

東京都世田谷区千歳台 2-14-7  
千歳クリニックモール 2F  
TEL.03-5429-4970  
<http://www.tsukamoto-seikei.com/>

が中心となります。さまざまな製剤で骨の破壊を抑えていきます。最近は骨粗鬆症を抑えるだけではなく、治すための良い薬が出てきています。食事療法も大事です。骨密度を増加させる栄養素を積極的に摂り、骨を丈夫にするよう心がけます。また、運動不足は骨密度を低下させる要因となります。当院では筋力をつけ、効率的に体質改善を図る先端のパワープレートも設置し、骨密度アップに威力を発揮しています。

女性は閉経後、確実に骨密度が落ちていきます。このため、どの程度骨粗鬆症になっているかを常に把握してください。骨粗鬆症を認識することで、より良いQOL(生活の質)を目指しましょう。

20代、30代の方も要注意です。最近は美白志向で日に当たらない、骨が細い女性が多くなっています。骨粗鬆症の予備群ともいえるでしょう。骨粗鬆症が気になる方は、いつでも気軽に当院を受診してください。



## つかもと整形外科醫院 院長 塚本 理一郎 医師

つかもと・りいちろう

医学博士。1998年、東京医科大学卒業。厚生中央病院勤務、日本整形外科学会 fellow として選出、Loma Linda University California USA 留学、アメリカ整形外科学会 The Knee Society 2010 John N. Travelling fellow、ヨーロッパ8カ所の病院に留学、湘南鎌倉人工関節センター整形外科医長を経て、2012年、つかもと整形外科醫院を開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医

Dr. Interview

骨粗鬆症  
……専門ドクターに聞く!……